

## 青森県支部だより

### 大山 力

第1回青森人工透析研究会は1978年3月に、弘前大学医学部附属病院の山本実先生を世話人として開催された。特別講演では、東京女子医科大学教授太田和夫先生に、「欧米における腎センターの現況」というテーマでご講演頂いた。この研究会には医師、看護師、臨床工学士など透析医療に携わる多職種のスタッフが参加し、以降、青森県の透析医療に関する情報交換、教育、学術、啓発活動の中心的役割を果たしていった。また、これを機会に青森県内の透析に従事する医師が一堂に会し、青森県透析医会を発足させた。

1981年、青森県透析医会は規約を制定するとともに会長と幹事会を設置し、佐々木桂一先生（佐々木泌尿器科病院）が初代会長に就任した。そして、1982年3月、本会は日本透析医会青森支部となり、会員数を増やし、活動を活発化させながら現在に至っている。2代目以降の歴代の会長は、舟生富寿（弘前大学名誉教授・鷹揚郷腎研究所名誉理事長）、石川惟愛（厚生病院）、佐藤浩平（浩和病院）、木村行雄（十和田泌尿器科医院）、鈴木唯司（弘前大学名誉教授）、村上秀一（村上新町病院）の各先生が数年間ずつ交代で務め、2017年より大山力（弘前大泌尿器科）が務めている。現在の役員名簿を表1に示す。

昨年、青森県の透析医療の礎を築かれた先生方のご逝去が続いた。2017年4月に石川惟愛先生、11月に佐藤浩平先生、そして12月に舟生富寿先生がご逝去された。まさに青森県の透析医療の黎明期を支え、そして大きく発展させてきた立役者の先生方の相次ぐご逝去は我々にとって大きな痛手であるが、第2、第3

世代の我々は先達のご業績をさらに発展させるべく奮励努力していく所存である。改めて、青森県透析医会の会長をお務めになられた3名の先生方のご冥福をお祈りする。

さて、1978年3月に最初の青森人工透析研究会が開催されたが、以後1年に1回、幹事が交代で大会会長になり、八戸市、黒石市、五所川原市、弘前市、十和田市、青森市の順に持ち回りで研究会を開催している（表2）。

直近の研究会は平成29年6月に第41回研究会を黒

表1 青森県透析医会役員名簿（五十音順）

会 長	おおやま ちから 大山 力	弘前大学医学部 泌尿器科 教授
副会長	かわぐちとしあき 川口俊明	青森県立中央病院 泌尿器科 部長
	はまだ わいちろう 濱田和一郎	医療法人平成会 理事長 八戸平和病院 院長
理 事	いしはらひろのり 石原弘規	財団法人双仁会 理事長 黒石厚生病院 院長
	さいとうひさお 齋藤久夫	公益財団法人鷹揚郷腎研究所 弘前病院 院長
	さいとうふみただ 齋藤文匡	公益財団法人鷹揚郷腎研究所 青森病院 院長
	ささきけいいち 佐々木桂一	医療法人仁桂会 佐々木泌尿器科病院 院長
	すずきただし 鈴木唯司	公益財団法人鷹揚郷腎研究所理事長 弘前病院 総院長
	とみたひろみ 富田泰史	弘前大学医学部 循環器腎臓内科 教授
	むらかみしゅういち 村上秀一	医療法人三良会 理事長 村上新町病院 院長
監 事	きむらゆきお 木村行雄	十和田泌尿器科 院長

表2 青森人工透析研究会開催一覧表

開催回	開催年月日	開催地	主催施設	会長名
第1回	S53. 3. 19	青森	弘大人工腎臓センター	山本 実
第2回	S54. 5. 27	青森	弘大人工腎臓センター	山本 実
第3回	S55. 3. 23	弘前	鷹揚郷腎研究所	舟生富寿
第4回	S56. 3. 15	八戸	佐々木泌尿器科病院	佐々木桂一
第5回	S57. 3. 28	黒石	厚生病院	石川惟愛
第6回	S58. 3. 27	五所川原	浩和医院	佐藤浩平
第7回	S59. 3. 18	弘前	弘前大学泌尿器科	舟生富寿
第8回	S60. 4. 21	十和田	十和田泌尿器科	木村行雄
第9回	S61. 4. 20	青森	村上新町病院	村上秀一
第10回	S62. 4. 19	八戸	佐々木泌尿器科病院	佐々木桂一
第11回	S63. 4. 10	弘前	鷹揚郷腎研究所	舟生富寿
第12回	H1. 4. 16	黒石	厚生病院	石川惟愛
第13回	H2. 4. 15	五所川原	浩和医院	佐藤浩平
第14回	H3. 4. 14	十和田	十和田泌尿器科	木村行雄
第15回	H4. 4. 12	弘前	鷹揚郷腎研究所	舟生富寿
第16回	H5. 4. 18	青森	村上新町病院	村上秀一
第17回	H6. 4. 17	八戸	佐々木泌尿器科病院	佐々木桂一
第18・19回	H7. 5. 21	黒石	厚生病院	石川惟愛
第20回	H8. 6. 1 6. 2	青森 〃	鷹揚郷腎研究所 村上新町病院	舟生富寿 村上秀一
第21回	H9. 6. 1	五所川原	浩和医院	佐藤浩平
第22回	H10. 6. 7	十和田	十和田泌尿器科	木村行雄
第23回	H11. 6. 6	弘前	鷹揚郷腎研究所	舟生富寿
第24回	H12. 6. 4	八戸	佐々木泌尿器科病院	佐々木桂一
第25回	H13. 6. 3	黒石	厚生病院	石川惟愛
第26回	H14. 6. 2	五所川原	浩和医院	佐藤浩平
第27回	H15. 6. 1	弘前	弘前大学泌尿器科	鈴木唯司
第28回	H16. 6. 6	十和田	十和田泌尿器科	木村行雄
第29回	H17. 6. 5	青森	村上新町病院	村上秀一
第30回	H18. 6. 4	弘前	鷹揚郷腎研究所	舟生富寿
第31回	H19. 6. 3	八戸	八戸平和病院	濱田和一郎
第32回	H20. 6. 1	黒石	厚生病院	石川惟愛
第33回	H21. 6. 21	青森	村上新町病院	村上秀一
第34回	H22. 6. 6	弘前	弘前大学泌尿器科	大山 力
第35回	H23. 6. 5	五所川原	浩和医院	佐藤浩平
第36回	H24. 6.10	十和田	十和田泌尿器科	木村行雄
第37回	H25. 6.16	青森	村上新町病院	村上秀一
第38回	H26. 6. 1	八戸	八戸平和病院	濱田和一郎
第39回	H27. 5. 17	青森	鷹揚郷腎研究所	齋藤文匡
第40回	H28. 6. 5	弘前	弘前大学泌尿器科	大山 力
第41回	H29. 6. 4	黒石	厚生病院	石原弘規
第42回	H30. 6. 3	五所川原	浩和医院	田村英嗣

石市で開催した。特別講演1企画，教育セミナー2企画，一般演題19題から構成され，参加者は460名を超え活況を呈した。本年は6月3日に第42回の研究会の開催を予定している。また，第4回青森県人工透析研究会（1981年）から青森人工透析研究会会誌（Journal of Aomori Society of Dialysis Therapy）を発刊している。さらに，青森県腎臓バンクが主催する臓器移植推進後援会を後援するなど，透析医療のみならず腎代替療法全般に関して幅広い活動を展開している。

現在，青森県透析医会会員施設は38施設で，透析治療を受けている患者は3,559人，うち130名が腎移植を希望している。県内で透析を実施している施設のほとんどが青森県透析医会に加入しており，その加入率の高さは特筆できる。現在，県内で腎移植を実施している施設は，八戸市民病院，鷹揚郷弘前病院，弘前大学医学部附属病院の3施設で，ドナー情報が出るとこの3施設が協力して，「施設の垣根を超えた腎移植チーム：チーム青森」を形成して献腎移植に貢献して

いる。青森県透析会も腎移植の推進を積極的に支援させて頂いている。